

臨 地 実 習

※臨地実習の詳細は実習要項を参照のこと

臨地実習 科目名		単位数	時間数	担当者	実習施設	目的	目標
基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ (看護との出会い)	1	45 (14)	《専任教員》	倉敷中央病院	看護の対象、療養生活、看護活動の場について理解し、看護の認識を深める	1. 病院で療養している人を理解する 2. 病院における看護の役割を理解する
	(日常生活援助)		(31)	《専任教員》	倉敷中央病院	受持患者の日常生活の援助を展開する	1. 対象の全体像を捉え、看護の必要性を認識する 2. 対象の状況や反応に合わせて看護を実践する
	基礎看護学実習Ⅱ (看護過程の展開)	2	90	《専任教員》	倉敷中央病院	看護過程の一連のプロセスを活用し、対象に必要な看護を実践する	1. 対象および対象の生活を理解する 2. 解決していく看護上の問題と援助の方向性を明らかにする 3. 対象の状況や反応に合わせて看護を実践する 4. 対象に行っている看護の意味を見出す
地域・在宅看護論	地域・在宅看護論実習	2	90	《専任教員》	倉敷中央訪問看護ステーション 倉敷中央デイサービスセンター 倉敷市倉敷中部高齢者支援センター 倉敷中央在宅介護支援センター 倉敷中央病院	地域で生活する人々の健康問題と関連する諸問題をとらえ、対象と家族のその人らしい生活や生き方を支援するための看護のあり方について理解する。また、地域包括ケアシステムにおける社会資源の活用や多職種連携について理解する	1. 地域・在宅で生活する療養者と療養者を取り巻く環境について理解する 2. 療養者及び家族の健康問題とその解決能力を査定し、援助の必要性を理解する 3. 療養者及び家族のQOL(Quality of Life)を高め、生活環境や生活習慣に応じた適切な援助の方法について理解する 4. 地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉の連携を学び看護の役割を理解する 5. 地域で生活しながら、透析療法を受ける患者の援助を理解する
成人看護学	健康危機状況から回復に向けての看護実習（成人看護学）	2	90	《専任教員》	倉敷中央病院	健康危機状況にある対象が健康危機を回避・脱却するための看護が実践できる能力を養う	1. 健康危機状況にある患者（及び家族）の身体的状態、心理的・社会的状況とその変化を理解する 2. 健康危機状況にある患者（及び家族）の状態理解に基づき、病状の安定や苦痛緩和に向けて援助する 3. 侵襲による形態・機能の変化に応じた生活の再適応に向けた援助を見出す 【ICU・SCU・CCU-C】 1. 集中治療室で療養する患者の健康危機状況について理解する 2. 健康危機状況にある患者の健康危機を回避・脱却する援助の根拠について理解する 3. 患者をひとりの人として尊厳を守る 【手術センター】 1. 手術を受ける患者の身体的・心理的状态を理解し、術後の継続看護に必要な視点を理解する
	セルフマネジメントに向けての看護実習（成人看護学）	2	90	《専任教員》	倉敷中央病院	慢性・長期的な健康問題をもちながら生活する人に必要な看護が実践できる能力を養う	1. 発達段階をふまえて慢性・長期的な健康問題をもつ人の身体的・心理的・社会的側面を多面的に理解する 2. 慢性・長期的な健康問題をもつ人のセルフマネジメントを支援する 3. 慢性・長期的な健康問題をもつ人を支えるチーム医療のあり方について学ぶ
	緩和ケア看護実習（成人看護学）	2	90	《専任教員》	倉敷中央病院	緩和ケアを必要とする患者を全人的に理解し、必要な看護が実践できる能力を養う	1. 緩和ケアを必要とする患者を全人的に理解し、その人らしい生を全うできるよう看護を実践する 2. 緩和ケアを必要とする患者の家族に対する援助の必要性を理解する 3. 緩和ケアを必要とする患者(及び家族)のQOL(Quality of Life)を支える医療チームの一員として、看護専門職の役割と多職種との連携のあり方について学ぶ

臨 地 実 習

※臨地実習の詳細は実習要項を参照のこと

老 年 看 護 学	セルフケア再獲得に向けての看護実習（老年看護学）	2	90	《専任教員》	倉敷中央病院リバーサイド	対象のセルフケア能力を身体的・精神的・社会的側面から理解し、セルフケア再獲得に向けて必要な看護が実践できる能力を養う	1. 「その人らしく生きていく」ためにセルフケア再獲得を支援する 2. 保健医療福祉チームにおける看護師の役割を理解する
	高齢者の生活支援実習（老年看護学）	2	90	《専任教員》	特別養護老人ホーム アミカル 地域密着型特別養護老人ホームアミカル デイサービスセンターアミカル ケアハウスつるがた	多様な場で生活する高齢者とその生活環境の実際を理解し、老いを生きる高齢者が安心して生活するための看護を実践できる能力を養う	1. 高齢者を全体として理解する中で、対象が望む生活が送れるよう看護を実践する 2. 高齢者が（地域で）安心して生活していく上での課題と医療・福祉のあり方を学ぶ
小 児 看 護 学	小児看護学実習	2	90	《専任教員》	倉敷中央病院 三和保育園	あらゆる成長発達段階・健康レベルにある患児及び家族に必要な看護が実践できる能力を養う	1. 健康障害のある患児とその家族について理解する 2. 患児の健やかな成長発達を促進するための援助を実践する 【保育園】 1. 健康な乳幼児の成長発達段階の特徴とその養育方法を理解する 【NICU】 1. 低出生体重児の特徴と看護の基本を理解する
母 性 看 護 学	母性看護学実習	2	90	《専任教員》	倉敷中央病院	妊娠・分娩・産褥における身体的・心理的・社会的特徴を理解し、妊婦・産婦・褥婦と新生児及び家族に対し、必要な看護が実践できる能力を養う	1. 妊娠・分娩・産褥期にある対象と新生児（及び家族）の身体的・心理的・社会的状況を理解する 2. 妊娠・分娩・産褥期及び新生児が正常に経過するための援助を実施する 3. 周産期における健康教育の必要性について理解する 4. 母性看護における継続看護の必要性を理解する。 5. 母性看護に関わる保健医療チームの中の看護職の役割を理解する
精 神 看 護 学	精神看護学実習	2	90	《専任教員》	まきび病院	精神障害によって対人関係や日常生活などに困難を抱えている患者とその家族に対して、その人が望むその人らしい生活に向けての看護が実践できる能力を養う	1. 全体としてのその人を理解する中で、その人が望む生活が送れるよう看護を実践する 2. 対象とのかかわりで生じる自己の感情を素直に見つめ、自己の傾向と課題に向き合う 3. 精神に障害のある人が地域で安定した生活を継続するために必要な環境調整やその中での看護職の役割について学ぶ
看 護 の 統 合 と 実 践	統合看護学実習	2	90	《専任教員》	倉敷中央病院	実務に即した看護を実践する能力を養う。専門職としての責任と役割を考察する	1. 複数の患者を受け持ち、それぞれの患者に必要な看護を見出し実践できる 2. 夜間における看護の実際を理解する 3. 看護管理の実際を理解する 4. 保健医療福祉チームの一員であるという自覚を高め、看護の役割を理解する。 5. 看護職としての責任を自覚し自己のあり方を考える
成績評価方法：実習評価表に基づき評価を行う。 基礎看護学実習Ⅰの評価は、「看護との出会い」30点、「日常生活援助」70点とし、それぞれ6割以上を合格とし、他実習はすべて6割以上を合格とする <履修方法について> 学則細則第5章第11条 履修方法 2) 3) 4) ・日常生活援助技術、日常生活援助技術の統合の単位を修得した者でなければ、基礎看護学実習Ⅰ（日常生活援助）を履修することはできない。 ・基礎看護学実習Ⅰ（看護との出会い・日常生活援助）・看護を展開する技術の単位を修得した者でなければ、基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）を履修することはできない。 ・基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）の単位を修得した者でなければ、専門分野の臨地実習（地域・在宅、成人、老年、小児、母性、精神、統合）を履修することはできない。							

※《専任教員》は、看護師または助産師としての実務経験があります。